



第15回
1のまち いなぎ市民祭

平成28年
第3回定例会

平成27年度決算を認定
歳出総額 595億円

第3回定例会の概要

市議会は、平成28年第3回定例会を8月31日から9月29日までの30日間にわたって開催しました。

この定例会では、平成27年度一般・特別・病院事業会計決算をはじめ、稲城市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する認可基準を定める条例の一部を改正する条例、稲城市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例、稲城市消防本部の設置等に関する条例の一部を改正する条例、平成28年度東京都稲城市一般会計補正予算(第3号)、平成28年度東京都稲城市土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)、平成28年度東京都稲城市介護保険特別会計補正予算(第1号)、稲城市教育委員会委員の任命についての14件の議案と議員から提出された3件の議案を審議し、9件を原案のとおり可決し、決算7件を認定し、1件を同意しました。市民から提出された陳情3件は、採択1件、不採択2件という結果でした。

また、9月5日から4日間にわたり20人の議員が市政について98項目の一般質問を行いました。

議会日程

7月	8月	9月
6日 議会運営委員会	2日 総務委員会	2日 本会議
7日 福祉文教委員会	3日 建設環境委員会	3日 議案(補正予算・決算・即決議案を除く)
11日 総務委員会	8日 福祉文教委員会	
12日 福祉文教委員会視察(福井県坂井地区広域連合)	22日 代表者会議	
13日 (愛知県名古屋市区医師会)	24日 議会運営委員会	
13日 (愛知県名古屋市区医師会)	26日 建設環境委員会	
14日 (愛知県名古屋市区医師会)	31日 本会議	
14日 (愛知県名古屋市区医師会)		
13日 建設環境委員会		
26日 総務委員会視察(北海道旭川市)		
27日 (北海道当麻町)		
28日 (北海道庁)		
5日 本会議	5日 本会議	29日 本会議
6日 代表者会議	6日 本会議	20日 議案、陳情委員会報告、討論、採決、議員提出議案質疑、討論、採決
7日 議会運営委員会	7日 一般質問	16日 決算特別委員会
8日 本会議	8日 一般質問	15日 決算特別委員会
9日 補正予算特別委員会	9日 本会議	14日 建設環境委員会
12日 総務委員会	12日 本会議	13日 福祉文教委員会
13日 福祉文教委員会	13日 本会議	12日 建設環境委員会
14日 建設環境委員会	14日 本会議	11日 建設環境委員会
15日 決算特別委員会	15日 本会議	10日 建設環境委員会
16日 決算特別委員会	16日 本会議	9日 建設環境委員会
20日 議会運営委員会	20日 本会議	8日 建設環境委員会
29日 本会議	29日 本会議	7日 建設環境委員会

○紙面の紹介

- 定例会の議案内容、意見書・決議、陳情の結果・・・2P
- 常任・議会運営・・・3P
- 特別委員会の審査状況・・・4P～7P
- 一般質問(20人)・・・4P～7P
- 議案議決結果(会派別、議員別)、先進都市等視察調査報告・・・8P

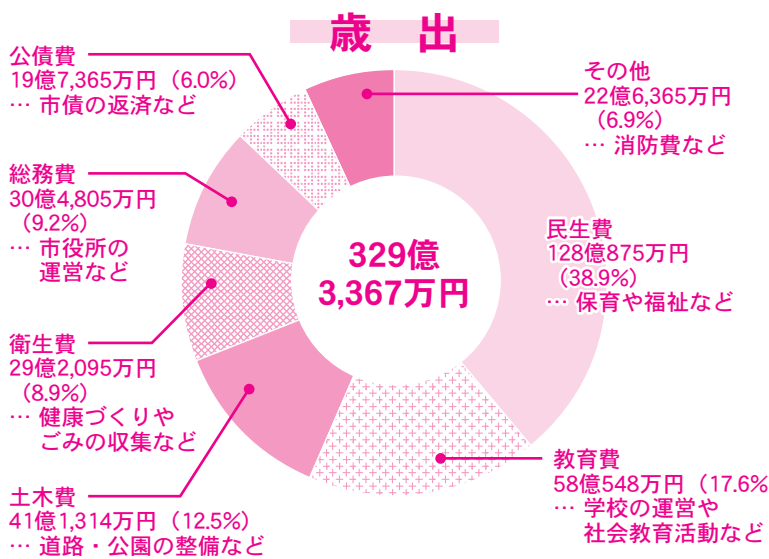
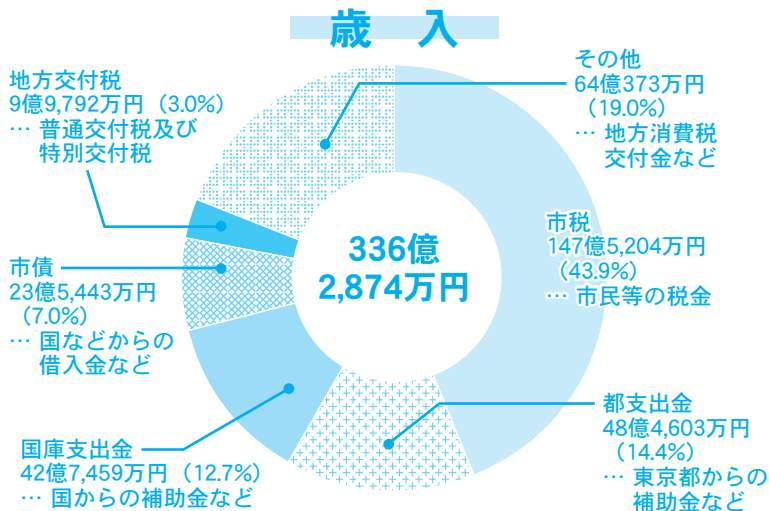
平成27年度各会計決算を認定 一般会計歳出総額329億円

市議会は、平成27年度一般・特別・病院事業会計の決算7件を、9月29日の本会議で認定しました。
本決算議案は、決算特別委員会に付託し、9月15日・16日・20日の3日間審査しました。一般会計の決算額は、歳入が336億2,874万円、歳出が329億3,367万円となっています。

**一般会計歳入
対前年度比
6・6%減**

一般財源は対前年度比5・3%の増となっています。増加したものは、納税義務者の増による個人市民税の増や、新增築家屋の増による固定資産税の増など市税が全体で2・0%増であり、税目別では個人市民税が2・1%、法人市民税が7・5%、固定資産税が1・7%、軽自動車税が2・4%、都市計画税が3%の増となっています。

一般会計決算の内訳



各会計決算額表

会計名	歳入	歳出
一般会計	33,628,745	32,933,671
国民健康保険事業特別会計	8,986,149	8,902,197
土地区画整理事業特別会計	2,762,574	2,724,588
下水道事業特別会計	2,161,402	2,136,333
介護保険特別会計	4,037,805	3,833,689
後期高齢者医療特別会計	1,275,846	1,275,846
病院事業会計	8,190,420	7,787,143
合計	61,042,942	59,593,467

※各項目ごとに千円未満を四捨五入しているため、合計と内容の計が一致しないことがあります。

**一般会計歳出
対前年度比
6・7%減**

0%の減となっています。増加したものは、繰入金が増え、調整基金繰入金の増により5.6%の増となっています。減少したものは、国庫支出金、公立学校施設整備費負担金、臨時福祉給付金国庫補助金、学校施設環境改善交付金の減などで17・0%の減、都支出金、子供家庭支援区市町村包括補助事業補助金の減などで5・7%の減、市債は(仮称)南山小学校建設事業債、第一小学校旧校舎建替等事業債、臨時財政対策債の減などで4.7%の減となっています。

決算特別委員会委員

- 委員長 渡辺 力
- 副委員長 市瀬 ひさ子
- 委員 岩佐 ゆきひろ
- 村上 洋子
- 佐々木 あきら
- 藤原 愛子
- 山岸 太一
- 池田 英司
- 中田 中
- 大久保 もりひさ

補正予算を可決

平成28年度東京都稲城市一般会計補正予算(第3号)、土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)及び介護保険特別会計補正予算(第1号)を9月29日の本会議で審議し、原案のとおり可決しました。

条例の制定及び一部改正

条例の制定、及び一部改正について、9月29日の本会議で審議し、原案のとおり可決しました。主な内容は次のとおりです。

- 稲城市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する認可基準を定める条例の一部を改正する条例
- 建築基準法施行令の改正に伴う家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の改正により、稲城市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する認可基準を定める条例の一部を改正するものです。
- この条例は、公布の日から施行されます。
- 稲城市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例
- 風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律の改正に伴い、稲城市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正するものです。

な内容は、基金に積み立てるための積立金、地方公共団体情報システム機構(J-LIIS)への通知・個人番号カード関連事務委任に係る交付金、B型肝炎ワクチンの定期予防接種に伴う経費、多摩川堤防への公衆トイレの建設工事に係る経費、土地区画整理事業特別会計への繰入金、平成27年度の実績確定等に伴う国庫支出金、都支出金の返還金などを計上するものです。事業の財源として、国庫支出金、都支出金、前年度繰越金などを計上しています。

陳情の結果

9月29日の本会議採決

不採択

○稲城市における、バランスのとれた受動喫煙防止対策を求める陳情

採択

○原発事故避難者への住宅支援の継続を求める意見書を政府及び東京都に提出することを求める陳情

意見書・決議

9月29日の本会議で、議員から提出された意見書と決議3件を審議し、原案のとおり可決しました。

教育委員会委員と 城所正彦氏

平成28年9月30日をもって稲城市教育委員会委員城所正彦氏の任期が満了することに伴い、引き続き任命することに9月2日の本会議で同意しました。

このほか、市長から専決処分1件を含む6件の報告がありました。

伊藤ちか子議員に辞職を勧告する決議

委員会の審査から

平成28年第2回定例会終了後から平成28年第3回定例会までの閉会中及び会期中に開催した常任・議会運営・特別委員会での審査・調査の概要は次のとおりです。

総務委員会

議案1件を審査しました。
稲城市消防本部の設置等に関する条例の一部を改正する条例について、2件の質疑があり、次のとおりです。

問 「稲城消防署上平尾消防出張所」という名称は、どのように決定したのか。

答 部隊の運用等を考慮しながら、庁議で検討、消防委員会でも協議し、決定した。

問 略称を検討する予定は。基本的には正式名称を使用するが、市民に分かりやすい名称ということでは、調整したい。

討論は賛成が1件あり、出張所の設置により病院への搬送時間が短縮されることを期待して、賛成する。一と一ものでした。採決の結果、挙手全員で原案のとおり可決されました。

特定所管事務調査事項として、「いなぎフリーWi-Fi」整備プロジェクト、稲城市財政白書（平成26年度決算）、土砂災害警戒区域指定に伴う東京都が行う基礎調査の実施、「市の鳥」一制定の検討経過、市民が読みやすく・見たくなる「広報いなぎ及び市ホームページ」（WEBなどのインターネット媒体）等の拡充について、調査しました。

福祉文教委員会

議案1件と陳情3件を審査しました。

稲城市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する認可基準を定める条例の一部を改正する条例について、2件の質疑があり、次のとおりです。

問 小規模保育事業A型の施設は稲城市にあるのか。今後、設置等を検討するのか。

答 稲城市にはない。現時点では検討していない。

問 今回の改正で、4階以上からの避難の際の安全は守られるのか。

答 安心だと判断している。討論は反対と賛成がそれぞれ1件ずつあり、採決の結果挙手多数で原案のとおり可決されました。

稲城市における、バランスのとれた受動喫煙防止対策を求める陳情については、3件の質疑があり、主なものは次のとおりです。
問 東京都受動喫煙防止検討会の動きと、東京都の取り組みの進捗状況は。
答 検討会では意見の一致には至らなかった。東京都では環境整備に1施設300万円を限度に補助をしている。店頭表示率は上昇している。
問 店頭表示率の向上促進についての認識は。

答 東京都の事業なので、実数は把握していないが、各事業所の判断により適切に推進されていると認識している。

討論は、反対が2件、賛成が1件あり、採決の結果、可決となつたため、委員長裁決により採択されました。

原発事故避難者への住宅支援の継続を求める意見書を政府及び東京都に提出すること

を求める陳情については、2件の質疑があり、採決の結果、賛成がそれぞれ1件あり、避難指示区域外からの避難者に対しては、一定の期間が経過した後、制度の見直し等が行われることは当然と考へ、反対する。安全が確保されないまま、帰宅しない方への支援を打ち切ることはいかなるものかと考へ、賛成する。一というものでした。

採決の結果、挙手多数で採択されました。
介護保険制度の保険給付から「要介護1・2」の生活援助・福祉用具等を外さないよう政府に意見書を提出することを求める陳情については、3件の質疑があり、主なものは次のとおりです。

問 陳情項目に、「介護保険制度の見直しは慎重に検討するように」とあるが、認識は。
答 国において検討が始まっているという認識はない。

問 要介護1・2の方の生活援助と福祉用具の利用者数と割合は。
答 生活援助は、訪問介護

を利用している226人中145人、福祉用具は771人中498人である。
討論は、反対が1件、賛成が2件あり、採決の結果、挙手多数で採択されました。

建設環境委員会

議案1件を審査しました。
稲城市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例は、質疑、討論はなく、採決の結果、挙手全員で原案のとおり可決されました。

特定所管事務調査事項として、土砂災害警戒区域指定に伴う東京都が行う基礎調査の実施、稲城市立公園内のパークビュー対応、バス公共交通の第II期見直し状況等、稲城長沼駅・南多摩駅への有料自転車駐車の設置、上平尾・小田良土地地区画整理事業区域内における多3・4・36号線小田良上平尾トンネル工事、稲城市まちづくり条例の制定について、調査しました。

議会運営委員会

特定担任事務調査事項として、次定例会等の会期等議会運営、議会運営の効率化について調査しました。

補正予算特別委員会

議案3件を審査しました。

平成28年度東京都稲城市一般会計補正予算（第3号）については、5件の質疑があり、主なものは次のとおりです。

問 公共施設整備基金積立金の算出方法は。
答 平成27年度の駐車場使用料から管理委託料・消耗品費等の支出を引いた額である。

問 定期予防接種の対象疾病にB型肝炎が追加された理由は。対象児童数は。
答 本年10月1日から、市町村での実施が義務づけられたことによる。約876人を見込んでいる。

問 緑化推進基金の積立金の位置づけは。
答 緑化の推進を図る事業の財源とする。

問 緑化推進基金の積立金の補正予算計上にあたり、今後の方向性も議論したのか。
答 使い道については、所管課と調整をしている段階である。

討論はなく、採決の結果、挙手全員で、原案のとおり可決されました。
平成28年度東京都稲城市土地地区画整理事業特別会計補正予算（第2号）は、2件の質疑があり、次のとおりです。

問 どのような可動堰を設置するのか。設置理由は。
答 集中豪雨を考慮し、転倒式の可動堰を設置する。大丸用水を菅堀系統と清水川系統に分流する際に、水量を調査するためである。

問 大丸親水公園に桜を復活させることについての考え方は。
答 できる限り桜を植栽していくように考えている。

討論はなく、採決の結果、挙手全員で、原案のとおり可決されました。

平成28年度東京都稲城市介護保険特別会計補正予算（第1号）は、質疑、討論はなく、採決の結果、挙手全員で、原案のとおり可決されました。

問 観光推進事業で、イベントを市の観光に活かすためにどのような支援をしたか。その効果は。
答 観光スタンプラリーのコース設計、桜・梨の花まつりの広報、メカデザインナーズサミットの運営などに関して協力し、経済効果やシティセールスにつながった。

決算特別委員会

平成27年度東京都稲城市一般会計歳入歳出決算は、120件の質疑があり、主なものは次のとおりです。

問 経常収支比率の増加要因と今後の見直しは。
答 地方税や地方消費税交付金の増額以上に人件費・扶助費・物件費が増額となったため、歳出抑制を図りながら、財政運営に努める。

問 広報いなぎに関して、新たに取組んだことは。
答 イラスト・写真・カラーページを増やし、「見せる」という部分を強化した。

問 子ども家庭支援センターは、本郷分室ができたことにより、どのように充実したか。
答 市民にとって、相談場所が選べるという利便性が向上した。

問 民間学童クラブの実施状況の特徴と評価は。
答 夜7時あるいは7時15分まで育成時間を延長し、学校休業日は朝8時から開所している。保護者には喜ばれており、市も柔軟な対応を評価している。

問 ふれあいの森施設整備工事の内容は。整備についての市の考えは。
答 災害時にも使用できる

井戸を整備し、だれでもトイレを設置した。自然を残しつつ、安全性に考慮した整備計画を進めていきたい。

問 観光推進事業で、イベントを市の観光に活かすためにどのような支援をしたか。その効果は。
答 観光スタンプラリーのコース設計、桜・梨の花まつりの広報、メカデザインナーズサミットの運営などに関して協力し、経済効果やシティセールスにつながった。

問 容器包装リサイクル品売込収入について、回収率は増加しているのに収入が減額となった理由は。
答 ペットボトルの売払い単価が下がったことによる。

問 南武線連続立体交差事業による効果は。
答 交通渋滞・踏切事故の解消、市街地の一体化、高架下空間の有効活用による地域の利便性の向上などである。

問 学校図書館活性化推進員の職務と設置した成果は。
答 蔵書管理、学習活動等を行う。推進員同士の連携により学校図書館が充実した。

問 オリンピック・パラリンピック教育推進校交付金はどうのように使われたのか。
答 東京都の指定校9校、稲城市の指定校9校で、オリンピックやパラリンピック、アスリートを招き、実技指導や体験活動を行った。

討論は反対が1件あり、駐車場の使用料と委託料との差額、就学援助や入学援助の支給時期、保育士の労働環境の改善については問題があると考へ、反対する。一というものでした。採決の結果、挙手多数で認定されました。

平成27年度東京都稲城市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算、及び、平成27年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算は一括審議し、5件の質疑があり、討論はなく、採決の結果、いずれも挙手全員で認定されました。

平成27年度東京都稲城市介護保険特別会計歳入歳出決算は、6件の質疑があり、討論はなく、採決の結果、挙手全員で認定されました。

平成27年度東京都稲城市土地地区画整理事業特別会計歳入歳出決算、及び、平成27年度下水道事業特別会計歳入歳出決算は一括審議し、5件の質疑があり、討論は、反対が1件あり、採決の結果、土地地区画整理事業特別会計歳入歳出決算は挙手多数で、下水道事業特別会計歳入歳出決算は、挙手全員で、それぞれ認定されました。

平成27年度東京都稲城市病院事業会計決算は、13件の質疑があり、主なものは次のとおりです。
問 第二次稲城市立病院改革プランの最終年度にあたり、院長が取り組んだことは。
答 医師の確保のため、大

学を52回訪問した。また、病院の目標・各診療部の目標を設け、ヒアリングを行った。
問 市民に市立病院を利用してもらうために、どのようなことをしたか。
答 院長やスタッフが医療機関に向き、市立病院の医療体制の説明をしたり、「健康バンザイ！いなぎ講座」・「駅前保健室」等に取り組み

討論はなく、採決の結果、挙手全員で認定されました。

▼護世帯は90・8%にとどまり、全体の98・6%よりも低くなっている。特に受験生の場合は進路があり、将来の選択肢を多くするために、教育からの支援も重要と考え、ただお金を貸すだけではなく、もっと勉強できる場所、環境を作るべきと考え、市の見解を伺う。



渡辺 議員

**認可保育所の
いわゆる特別保育に
ついて**

問 市では、シルバー人材センターで学習教室や家庭教師の派遣などを行っており、特に学習教室では、多くの小中学生に参加していただき、効果はあるものと考えているため、引き続き継続していきたいと考えている。また、大学生のボランティアの活用については、研究課題としたい。

答 市では、シルバー人材センターで学習教室や家庭教師の派遣などを行っており、特に学習教室では、多くの小中学生に参加していただき、効果はあるものと考えているため、引き続き継続していきたいと考えている。また、大学生のボランティアの活用については、研究課題としたい。

問 子ども食堂の開設・支援について伺う。

答 子ども食堂の取り組みについては、市内のニーズや周辺市の状況、市民活動の動向などを注視していく。

問 市民活動の動向として、2つの市民団体から情報提供を伺っているとのこと、非常に前向きなところと考えるが、周辺の多摩市・調布市・府中市・狛江市で子ども食堂が開かれているため、なるべく早く対応すべきと考える。見解を伺う。

答 2団体については、市の積極的な支援ということではなく、自分たちの団体は地域コミュニティの一環として取り組んでいくと、子ども居場所づくりとして地域コミュニティといった考えの中で取り組んでいただいている。市民の活動の動向などは引き続き注視していく。

(その他、アイコスの対応、原付のナンバープレートにガ

ンダムを活用すること、空き家対策、南多摩・稲城長沼駅(駐輪場)

問 認可保育所の年末保育としては、本郷ゆし保育園において拠点型として実施している。事業の概要は、保育所等を利用する市民で満4ヶ月以上の未就学児童を対象として、日曜日を除く12月29日から12月31日までの年末に、保護者の就労等により家庭での保育が困難な場合に保育を行っている。利用状況は、平成27年度では、12月29日が34人、12月30日が23人、12月31日が17人と、合計74人が利用した。

問 市内認可保育所のいわゆる特別保育について、一時保育の利用状況を含めた現状等を伺う。

答 認可保育所の一時保育は、保護者の短期での就労や病気・出産、またリフレッシュ目的など、一時的に家庭での保育が困難となる場合にご利用いただける保育サービスで、平成27年度の利用実績は、実施園8園の合計で、延べ5850人の利用があった。

問 休日保育の利用状況を含めた現状等を伺う。

答 認可保育所の休日保育は、本郷ゆし保育園において拠点型として、平成27年10月から事業を開始した。事業の概要は、1歳児クラス以上で市内在住の年度を通じて利用登録をした未就学児童を対象に、日曜日または祝日に保護者の就労等により家庭での保育が困難な場合に保育を行っている。利用状況は、平成27年10月から平成28年3月までの6ヶ月間では、利用登録が8人で、延べ2人が利用し、平成28年4月から7月までの間では、利用登録が4人で、延べ4人が利用している。

問 年末保育の利用状況を含めた現状等について伺う。

(その他、認証保育所、夏休みの環境学習講座、稲城市メール配信サービス)

**「稲城市のシティ・プロモーション」の
取り組みについて**



尾 沢 議員

問 「稲城市観光基本計画」の6章の推進体制についての具体的な取り組みについては。

答 観光推進体制については、庁内の関係各課の連携を密にし、個別事業への取り組み、連絡協議会への組織化などの協議を進めていく。連絡協議会組織については、行政、農業・商工業関係者、観光事業関係者、市民活動団体関係者、市民、学生などの構成メンバーにより、さまざまな視点での観光推進施策を推進できる組織づくりの検討を進めている。その組織を進展させて、観光推進プラットフォームとなる観光協会の設立に結びつくよう、他市の事例も参考

にして検討していきたい。

**地域資源のカテゴリーの
拡大、人材資源の掘り起こし
について伺う。**

答 カテゴリーの拡大については、各種団体等の情報収集や他市の成功例を選別しながら新しい地域資源としての活用方法を検討することも、既存の市内諸行事やイベントなどを観光面から連携させることにより、稲城のまちの魅力を上昇させていきたい。人的資源の掘り起こしについては、まちの活性化に興味を持つ個人や団体との協働による観光振興を図ることを目標に、情報収集に努め、「連絡協議会」につなげていきたい。

問 人材資源の掘り起こしについて、観光大使の設置という活動があるが、見解は。

答 観光大使制度を導入する場合、知名度や影響力のある方々をお願いすることとなるが、人材の選定、役割の規定などの検討が必要であるため、他市の成功例を踏まえて今後の研究課題とする。

(その他、稲城市の農業振興、南山東部土地区画整理事業の進捗、鶴川街道(多3・4・15号線)周辺の整備計画等)

**稲城市の防災に
関連する市の
取り組みについて**



鈴木 議員

問 7月14日は集中豪雨、8月には台風9・10・11号が連動、市内においても土砂流出、道路冠水などの状況が発生した。連日の豪雨で、発生した問題及び状況は。

答 落ち葉やごみ、斜面地の土砂などが道路に流れ込み、集中豪雨などの排水施設に詰まるなど、排水機能が低下したことや、短時間の集中豪雨により水路の水かさ上がり一部越水したことが問題と考える。各所の状況は、7月14日では、平尾の天神通りと平尾中央通り交差点付近で概ね30cm、大丸の水田通りセブンイレブン付近で概ね20cm、他に矢野口地区などで道路冠水があった。8月22日の台風9号では、若葉台一丁目地内の開発現場の土砂流出による通行止めなどがあった。

問 これら各所の状況にどのような対応を取ったか伺う。

答 豪雨前に職員による現場パトロールを実施し、集水場などの落ち葉やごみの除去、浚渫などを実施した。豪雨時には、市民からの通報などをもとに、冠水箇所の状況確認、排水施設の落ち葉などのごみ除去、土のうの設置などを実施した。豪雨後は、市内をパトロールし、道路の清掃や折



稲城市消防本部緊急消防援助隊による救助活動(常総市)

れ枝の回収などを行い、道路の通行の安全確保をした。

問 今後どのように整備していくのか市の考えを伺う。

答 雨水管渠等の整備は、第四次稲城市長期総合計画期間内に、公共下水道の雨水排水整備計画を策定し事業を実施していくが、計画には時間を要するので、適切な維持管理と既存施設の改良などを図り、昨今の状況を踏まえ、効果的な対策を検討し、可能な範囲で実施する。

(その他、2020東京五輪・自転車ロードレース競技、平尾地域の交通・公園整備)

**里親制度への
理解と支援について**



佐々木 議員

問 日本では、親の病氣、経済的な理由、虐待などによって、親が育てることができない子どもたちは、厚生労働省の発表では、約4万7千人いると言われている。日本の場合には、約85%が乳児院や児童養護施設といった施設で育てられており、里親やファミリーホームといった家庭養護で育てられている子どもは約15%である。外国では、例えばオーストラリアで93・5%、韓国で43・6%、英国で71・7%、米国で77%が里親のもとで養育されている。里親制度についての市の現状と課題は。

答 里親制度は、東京都の事業であり、稲城市については、多摩児童相談所が直接の窓口となっている。市では、多摩児童相談所が里親制度の周知として実施する「養育家庭体験発表会」の会場提供や、東京都の制度周知パンフレットの配布などで協力している。そうした中で、市としての課題は特になくはないと考える。

問 学校給食における工夫と、現在のアレルギーへの対応状況を伺う。

答 食物アレルギーを持つ児童・生徒が少しでも給食を食べられる回数が多くなるように、使用食材等を検討し、工夫して給食を提供している。現在では、ひと月の半分程度、他の児童・生徒と一緒に食べられるようになってきている。

**小中学校の給食における
アレルギー対応の
取り組みについて**



中田 議員

問 市のかかり方を伺う。

答 市としての主なかわかりは、東京都が実施する里親制度の周知活動への協力となっている。

問 乳児院や児童養護施設で生活している子どもたちが、家庭での生活が体験できる場所として、フレンドホームという制度があるが、市内のフレンドホームの数と最近の都内での状況を伺う。

答 東京都に確認したところ、現在、稲城市でフレンドホームとして登録いただいているご家庭は5世帯ある。都内全体では、平成22年度では529のご家庭、平成26年度では461のご家庭と、減少傾向にある。

(その他、子どもの貧困対策、発達障害児の支援、投票所のバリアフリー化を含めた障がい者の投票環境の向上)

問 今までは、年に数回程度子どもたちの好きなカレーやデザートなどを一緒に食べられるように工夫してきた。給食試食会やアレルギーを持つ児童・生徒の保護者との話し合いの中で意見を取り入れながら、乳糖が含まれないデミグラスソース、牛乳ではなく豆乳で作られている杏仁豆腐、チーズやバターを使用せず、ひき肉でコクを出す夏野菜カレーなど、献立の作成時に使用食材の選定品を工夫し、一緒に食べられる給食の回数を増やしている。

問 献立表で、保護者の方が見落としをしないようどのような工夫をしているか伺う。

答 食物アレルギーがあ

る児童・生徒の保護者へ食
材等の情報提供書類を学校を
通じて配布している。学校で
も配布した情報提供書類を給
食主任、学校担任、副校長な
どで確認し、誤食しないよう
対応している。今後、料理名
に対応した使用材料名ごとに
主なアレルギーである卵、乳、
ゴマその他の種実、大豆、エ
ビ、小麦、キウイフルーツを
個々に表記し、チェックもで
きるアレルギー詳細立表を、
できたら10月から配布したい。
(その他、災害発生時におけ
るトイレ対策、オープンデー
タ活用を推進するための環境
整備)

中・高校生、
青年の居場所に
ついて



村上議員

問 稲城市では、市民によ
る子供の居場所づくりの活動
も見られるが、行政として、
中・高校生、青年の居場所を
確保し、適正な見守りや支援
を行っていくべきと考える。
児童館の中高生タイムを延
長し、実施していない児童館
でも実施・充実すべきと思っ
た、市の考えを伺う。

答 中学生・高校生からの
直接の要望も特段ないこと
から、中高生タイムの時間延
長については、現時点では実
施する予定はない。

問 中高生タイムの時間延
長は実施する予定はないこと
が、それではどのようなよう
な形でニーズ調査の要望に応

えていこうとしているのか、
児童館としての中学生・高校
生や青年の居場所づくりにつ
いて、市の考えを伺う。

答 市内のさまざまな施設
のさまざまな役割といったも
のを踏まえた中で、現在実施
している児童館での中高生タ
イムを含めて、今後も現場等
においてニーズ等を適切に捉
えて、必要性があれば、中学
生・高校生の居場所づくり
について検討していきたいと考
えている。

問 勉強できるスペースが
欲しいという要望があるが、
夏休みや受験前などに公民館
に学習スペースを確保するこ
とについて市の考えを伺う。

答 公民館は、社会教育法
に基づく施設であり、社会教
育活動を始め、地域貢献活動
や社会貢献活動を行っている
公民館登録団体にご利用いた
だいている。中学生・高校生
のために学習スペースとして
公民館施設を確保してくださ
る団体等の担い手がいる場合
には、部屋の確保等、配慮し
ていきたいと考えている。
(その他、子ども参加のまち
づくり、地域共生社会の実現
に対する稲城市の基本姿勢)

英語教育について



伊藤議員

問 多摩市立和田中学校で
は、「地域未来塾」で生きた
英語を学んでいる。稲城市と
しての取り組みについて伺う。

答 全小中学校にネットイ
ブスピーカーである外国人講
師(ALT)を配置し、英語
の授業などにおいて活用する
とともに、ICT機器の活用
などにより「聞く」「話す」
などの充実を図っている。

問 福岡県飯塚市では、6
年生が海外のネイティブとい
ンターネットをとって英会
話をしている。稲城市として
の取り組みを伺う。

答 全小中学校で、ALTが
授業中のほか、休み時間など
も児童・生徒とコミュニケーション
活動を行っている。指
定された3校では、外国人に
日本の伝統文化を直接紹介す
る取り組みを行っている。そ
のほか、中学校においては、
校外学習や修学旅行の際に日
本を訪れた外国人と英語で会
話するなど、コミュニケーション
活動に取り組んでいる。

問 栃木県壬生町ではALT
が給食時に校内放送をして
いる。稲城市としての考え方
を伺う。

答 教育委員会はALTが
授業以外でも児童・生徒と触
れ合う機会の充実を推進して
おり、ALTが児童と給食を
とるなどの活用をしている。
(その他、空き家対策につい
ての条例制定、プログラミン
グ教育、食育、特別支援教育
コーディネーターの専任化、
国土交通省の「景観まちづく
り教育」、貧困連鎖を断つ政
策づくり、新学習指導要領、
ICTの活用、稲城市総合教
育会議、認知症施策の推進、
オーエンス健康プラザの運営
事業の効果、東京多摩のち
の電話、水環境、ごみ減量施
策の新たな取り組み、長峰フ

稲城市の公立中学校の
部活動の充実・
存続について



池田議員

問 稲城市の公立中学校で
は、部活動の有無を理由に指
定校変更が認められているが、
直近3年間で、入学時に指
定校変更をした生徒数を伺う。

答 平成25年度39人、平成
26年度38人、平成27年度44人
となっている。

問 各中学校の部活動で、
過去3年間に廃止した部活動
について、学校別の部活動名
と、それぞれ廃止とした理由
を伺う。

答 まず平成26年度に、稲
城第二中学校で顧問教員の異
動のため英語部を廃止した。
平成27年度に活動を廃止した
部活動はない。次に平成28年
度に、稲城第二中学校で入部
生徒の減少により演劇部を廃
止し、顧問教員の異動により
手話部を廃止した。また、稲
城第三中学校で顧問教員の異
動により新体操部を廃止した。

問 市内では、これまでに
盛んに活動していた部活動で
も、指導者がいなくなり、廃
部となった事例もある。この
ように、希望する部活動がで
きると期待して入学した学校
で部活動がなくなってしまう
ことは、子供たちにとって大
変残念なことであると思っ
ている。そこで、顧問が異動し
ても部活動が廃止にならない
ような方法があるのかを伺う。

答 顧問教員が異動しても
部活動を廃止しない方法と
しては、外部指導員の活用、
また指導の専門性はなくとも、
複数の教員が連携・協力し、
部員生徒の安全管理、活動の
保障を主とした顧問を務める
方法がある。
(その他、豊かな自然資源と
夏の昆虫、川崎街道の自転車
走行空間の整備、矢野口駅西
自転車駐輪場の改善、202
0年東京オリンピック・ロー
ドレース大会に向けた自転車
連盟の発足)

観光ウォーキング
ツアーの更なる
充実について



北浜議員

問 現在、定期的に開催さ
れている観光ウォーキングツ
アーの現状までの開催状況に
ついて伺う。

答 平成26年度に10回実施

し、263人が参加し、平成
27年度は13回実施し、425
人が参加しており、2年間の
計23回実施のうち、5回は写
真撮影の手法等の講義を受け
ながら市の見どころを散策す
る撮り歩き写真講座を実施し
ている。平成28年度は10回の
実施計画で、8月末までに既
に4回実施し、104人の参
加があった。

問 平成26年度には10回、
平成27年度には13回、今年度
は既に10回のうち4回が実施
されているということ、人
数は今答弁があったとおり、
それなりに実績を上げてい
る部分だと思う。こういう地道
な観光を主とした事業は大事
だと思う。その中で、観光ウ
ォーキングツアーのうち、撮
り歩き写真講座を5回実施し
ているが、この講師はどのよ
うな方に依頼したのか伺う。

答 講師については、実績
のある方ということで、いな
ぎICカレッジのデジタル写
真講座の講師に依頼している。



観光ウォーキングツアーの様子

稲城第三小学校の
大規模改修と増築に
ついて



大久保議員

問 稲城第二小学校と稲城
第三中学校の校舎は、第四次
稲城市長期総合計画に大規模
改修等事業が計画されたが、
この2校より古い稲城第三小
学校の校舎の大規模改修等工
事が計画されなかった理由は、
答 策定時点における校舎
の状態から、大規模改修を要
する状況ではないと判断した
からである。

認定について伺う。

答 「新日本歩道道紀行1
00選シリーズ」は、NPO
法人新日本歩道道推進機構が
平成27年度より、歴史の道、
文化の道、森の道などの10の
カテゴリで募集しており、
平成27年度に「歴史・自然・
芸術・味処を巡る、よくばり
コース」名で押立・矢野口・
京王よみうりランド駅周辺の
歴史遺産などを訪れるコース
を応募したところ、文化の道
100選の一つに認定された。
(その他、企業誘致とその効
果)

問 第四次稲城市長期総合
計画の期間内に稲城第三小学
校の大規模改修工事を実施す
るべきでは。

答 校舎の大規模改修は、
稲城市市有建築物維持・保全
計画等を基に、劣化状況を踏
まえた上で、優先度等に応じ、
対応すべきものと認識してい
る。

問 稲城第三小学校は、校
舎の老朽化が進んでおり、特
別支援学級の児童も今後増加
することが見込まれる状況で
あるので、早急に大規模改修
を実施すべきと考えるが、い
かがか。

答 稲城第三小学校の校舎
は、老朽化が進んでおり、今
後行う学校の大規模改修工事
においては、早期に実施すべ
き学校であると認識している。
次の長期総合計画においても、
他の市有建築物の劣化状況を
比較して判断する必要はある
が、教育委員会としては、優
先して対応すべきものと考え
ている。

(その他、大規模災害発生に
備えた避難行動要支援者に関
する取り組み、埋込型人工鼻
の購入費の助成、公明党が提
案する保育所待機児童ゼロ対
策、保育所における児童の送
迎時の迷惑駐車と騒音などの
問題、児童・生徒の怪我や事
故などへの対応、児童数が急
増している稲城第七小学校の
支援強化、中学校の運動部活
動における諸課題、自転車の
交通安全対策)



平成28年第3回定例会での審議結果（平成28年8月31日～9月29日）

Table with columns for '議員名' (Member Name), '議案等の名称' (Name of the Bill/Resolution), '議決結果' (Decision Result), and '賛成' (Favorable) / '反対' (Opposition) counts. Rows include various budget items and resolutions.

（稲城市議会議員 条例定数22人 現員22人）

☐=可決 ☒=否決 ☑=同意 ☒=認定 ○=賛成 ☒=反対 議=議長 欠=欠席 □=退席



旭川市 「旭川市広報広聴戦略プラン」について。プラン策定の経緯・概要、広報広聴活動等。当麻町

総務委員会 視察日 平成28年7月26日（火）～28日（木） 視察地 北海道旭川市、北海道当麻町、北海道庁

市政に反映するため 先進都市等を視察 市議会の総務・福祉文教・建設環境委員会は、市政に反映することを目的に特定所管事務調査事項について先進都市等の調査を行っています。



旭川市 「旭川市広報広聴戦略プラン」について。プラン策定の経緯・概要、広報広聴活動等。当麻町

福祉文教委員会 視察日 平成28年7月12日（火）～14日（木） 視察地 福井県坂井地区広域連合、愛知県名古屋市中区

「ウェブサイトを（総務大臣賞）」について。作成方針、実績と効果、具体的取り組み等。北海道庁



宝塚市 「宝塚市開発事業における協働のまちづくりの推進に関する条例」について

建設環境委員会 視察日 平成28年4月19日（火）～20日（水） 視察地 大阪府箕面市、兵庫県宝塚市

在宅医療・介護連携拠点である名城病院、鶴飼リハビリテーション病棟の2カ所を現地視察した。